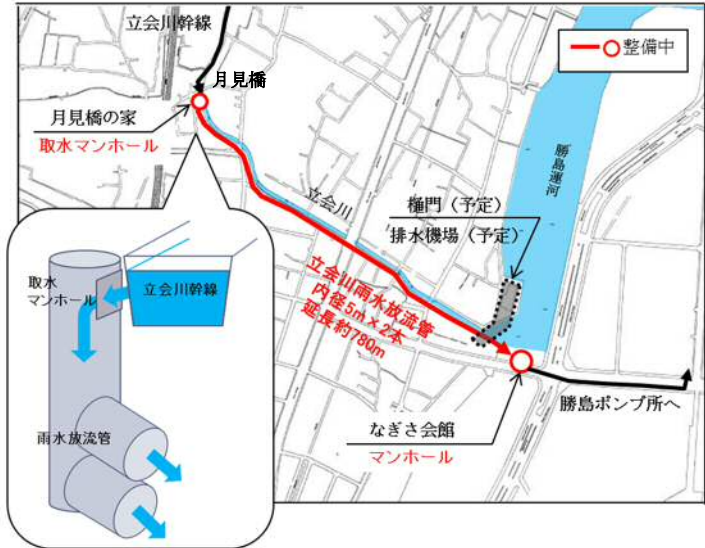


立会川雨水放流管工事（東京都下水道局施工）について

1 立会川雨水放流管工事の概要

立会川沿いで発生する浸水被害の軽減および立会川（勝島運河）の水質改善を図るため、立会川の地下（なぎさ会館～月見橋）に雨水放流管をシールド工法にて整備する。

雨水放流管完成後は、高潮・津波対策として、河口に樋門・排水機場を整備する計画である。



2 工事工程の変更

立会川流域の浸水被害に対するさらなる安全性の向上を図るため、月見橋の取水マンホールの構造を見直すとともに、現在の施工状況等を踏まえ、雨水放流管の通水時期が平成33年度末まで延伸する見込みである。

○ 現在の予定：平成32年度中頃 ⇒ 変更後：平成33年度末

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
トンネル工事（一次覆工）		契約★	[Green bar]							[Red bar]			
トンネル工事（二次覆工）								[Green bar]		[Red bar]			
マンホール築造 (なぎさ会館付近・月見橋付近)								[Green bar]	[Red bar]	[Red bar]	通水開始		
月見橋の家 復旧工事								[Green bar]	[Red bar]	建築開始	[Red bar]	建築完了	

なお、マンホール構造の見直し等により工事が大規模となることから、マンホール整備後に月見橋の家を復旧する工程に変更し、建築完了は平成34年度末を見込んでいます。

3 今後の予定

町会や周辺区民、月見橋の家利用者に対する工程変更の説明については、都と連携し順次実施する。また、事業完了まで難易度の高い工事が続くことから、工程管理の徹底を都に強く要請していく。